



ジェンダー平等な社会を次世代に

WE-Next

アニュアルレポート

(第3期 2025.6～2026.5)

一般社団法人WE-Next

<https://we-next.jp/>



日頃より、WE-NEXTの活動に多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様の温かいお力添えにより、当法人は無事に2期目の活動を終えることができました。あわせて、「YUIみらいプロジェクト」(シャネル財団支援)の活動も無事に完走いたしました。このプロジェクトでは、多くの事業を展開することで私達の潜在的な力を引き出すことが出来たと同時に、全国各地の市民団体とのネットワークも構築いたしました。

これもひとえに、九州経済連合会をはじめ、賛助会員企業や地域の経営者の皆様、自治体のご担当者様のご支援、そしてWE-Net修了生の皆様の献身的なご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

現在、世界的なDEI(ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン)に対するバックラッシュや、国際的な対立に起因する人権問題など、私たちの活動を取り巻く環境には厳しい逆風が吹いています。しかし、このような困難な状況にあるからこそ、逆風に屈することなく、私たちの豊かな社会、そして経済的な発展を実現する普遍的な基盤として、ジェンダー平等が必要なことを発信、そして対話していきたいと考えています。

今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



目次

はじめに	・ ・ ・ ・ ・	2
目次	・ ・ ・ ・ ・	3
団体概要	・ ・ ・ ・ ・	4
一般社団法人WE-Nextについて		
・概要		
・体制・運営メンバー		
・賛助会員企業		
活動報告 2025ー2026 3期		
①YUIみらいプロジェクト	・ ・ ・ ・ ・	8
②九州経済連合会アライアンス事業	・ ・ ・ ・ ・	1 4
③自主事業	・ ・ ・ ・ ・	1 9
財務報告	・ ・ ・ ・ ・	2 5

団体概要

一般社団法人WE-Nextについて

Action!

社会とビジネスの課題に
ジェンダー視点のアクションを！

私たちはジェンダーや多様性の視点で社会やビジネスの課題解決とウェルビーイングを実感できる社会づくりにチャレンジしています！





団体について

弊会の活動は、2013年に誕生した「女性の大活躍推進福岡県会議」に始まります。経済界が主体となる活動形態は全国から注目され、この時期各地に同様の趣旨を掲げる団体が誕生するきっかけとなりました。2021年からは、「女性がリードするビジネスと社会の変革『WE-Nextの会』」として、運営形態、名称を変更し活動を展開。一般社団法人九州経済連合会とのアライアンスを開始し、地域貢献の視点をさらに意識した活動を進めてきました。

2023年には、これまでの活動を基盤に、さらなる発展を目指して、公益財団法人みらいRITAの助成プログラム「YUIみらいプロジェクト～ジェンダー視点のある地方創生」への参画が決定。2024年春、組織体を一般社団法人化し、名称を「WE-Next」と改めました。

前組織発足時からの意思を継承するとともに、新たに「ジェンダー平等な社会を次世代に」をタグラインに掲げ、福岡県内の女性管理職を中心に、ジェンダー平等や多様性経営に取り組む経営者や、人事、D&I担当者等が連携した産学官の協働チームで、ジェンダーおよび多様性に関する地域社会やビジネスの課題解決に取り組んでいます。

2013年 女性の大活躍推進福岡県会議として誕生

- ・自主宣言登録制度や女性管理職ネットワーク
WE- Net福岡 等の活動で全国から注目を集める
- ・同時期に全国に同義のミッションを掲げる団体が多数誕生する

2015年 内閣府「女性のチャレンジ支援賞」を受賞

2020年 次なる活動を模索、組織再編成

2021年 WE- Nextの会に名称を変更

この活動でエンパワーされた女性管理職を中心に、社会とビジネスの“変革”をリードする次のステージの活動を開始！

九州経済連合会の皆様とのアライアンス開始

2023年 公益財団法人みらいRITA「YUIみらいプロジェクト～ジェンダー視点のある地方創生」に採択 (2025年12月まで継続実施)

2024年3月 一般社団法人WE-Next 設立

Our concept

WEにこめた思い
Women's Economics
Women's Empowerment

女性の経済参加の課題から、
新しい経済や社会をリードする存在へ

支援される側から、次世代をエンパワーする側の立場へ

ジェンダー平等な社会を次世代に



体制・運営メンバー

弊会では、女性管理職ネットワークWE-Net福岡修了生を中心とする有志のボランタリーな活動参画で各プロジェクトを運営しています。

●共同代表・理事

	氏 名	所 属 等	WE-Net参加期
共同代表	高見 真智子	株式会社サイズラーニング 代表取締役	
共同代表	高山 健司	西部ガス・カスタマーサービス株式会社 顧問	
理事	武富 恭子	イオン九州株式会社 執行役員 熊本・筑後事業部長	2期
理事	田中 徹	一般社団法人九州経済連合会 常務理事	
理事・事務局担当	佐々木 圭子	一般社団法人WE-Next	3期

●運営メンバー

WE-Net参加期	氏 名	所 属 等	WE-Net参加期	氏 名	所 属 等
1期	高鍋 優子	キャリアコンサルタント	7期	山本 有希	有限責任監査法人トーマツ
1期	土谷 和子	story代表	8期	原 敬子	九州旅客鉄道株式会社
1期	古田 香	株式会社 ポータル	9期	石井 祐香	九州電力株式会社
1期	與田 靖子	株式会社九州博報堂	9期	大塚 直美	住友生命保険相互会社
3期	浦 里果	福岡県農業振興推進機構	9期	野上 千寿	株式会社ハローライフ
3期	曾根 ゆかり	株式会社岩田屋三越	10期	井戸下 奈緒	株式会社読売西部サービス
5期	平井 尚美	西部ガス・カスタマーサービス株式会社	10期	田中 綾	株式会社ドコモCS九州
6期	有光 千秋	トライアルホールディングス株式会社	10期	檜本 かおり	住友生命保険相互会社
6期	初村 清香	西部ガス株式会社			

運営メンバーはWE-Net参加期及び氏名の五十音順、弊会関係者は敬称を省略、所属等は2026年5月末現在



賛助会員企業

以下の組織より、サポートを受けて活動を継続しています。期待を超える活動を実現できますよう努めます。



「手の」ぬくもりまでも伝えたい



まちに、夢を描こう。



活動報告

第3期 2025-2026

①YUIみらいプロジェクト関連

Action!

社会とビジネスの課題に
ジェンダー視点のアクションを！

私たちはジェンダーや多様性の視点で社会やビジネスの課題解決とウェルビーイングを実感できる社会づくりにチャレンジしています！





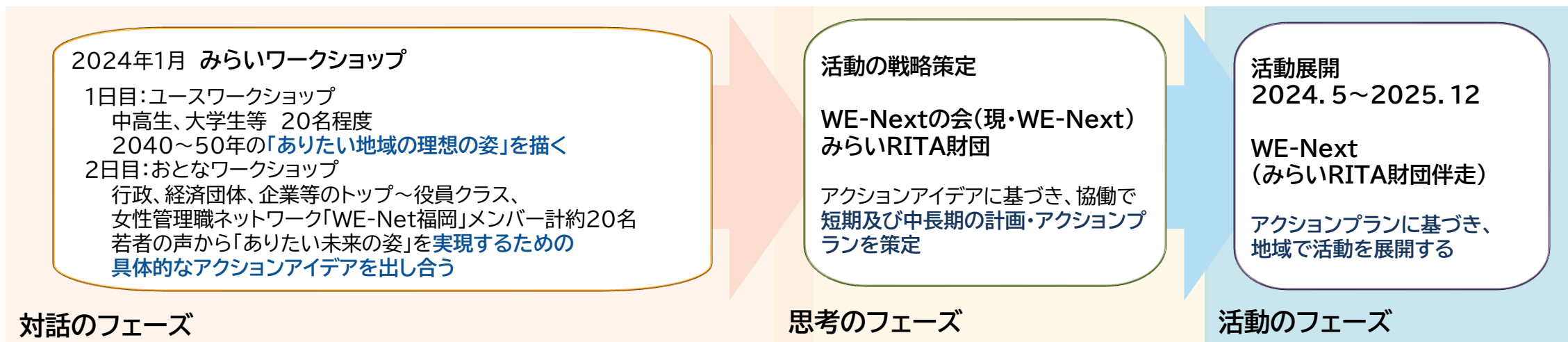
YUIみらいプロジェクト 概要

WE-Nextは2023年に、公益財団法人みらいRITAが実施するYUIみらいプロジェクト「ジェンダー視点のある地方創生助成」に採択されました。2025年12月までの間、同財団からの助成金と伴走支援を受け、福岡で「官・民・市民社会」の連携によるジェンダー平等/多様性社会を実現するための様々なプロジェクトを実施するとともに、会の中長期的な成長に向けた組織基盤の強化にチャレンジしています。

YUIみらいプロジェクトについて

本プロジェクトの実施母体である公益財団法人みらいRITAは、社会課題の解決にチャレンジする組織を支援する中間支援組織として、セクター間をつなぎ、環境やジェンダー平等等の社会課題解決に対し、資金、人材、技術、ネットワーク等を提供しています。これまでの活動を通じ、日本の社会の最も大きな課題の一つにジェンダーの問題があると考え、シャネル財団とパートナーシップを組み本プロジェクトを日本全体で進めています。活動の資金提供を行うシャネル財団は、成熟した市民社会の実現が豊かな社会づくりにつながるというフィロソフィーのもと、これまで世界各国で女性や女の子の支援を続けています。弊社が参画する「YUIみらいプロジェクト」は、アジア全体のジェンダー平等を推進していく基礎となる、プロトタイプにもなると考えられています。そのミッションに共鳴し、私たちも福岡を中心に、ジェンダー視点を加味した地域・社会づくりを実行しています。

YUIみらいプロジェクト ジェンダー視点のある地方創生プログラムのプロセス





2024年1月に開催したみらいワークショップ(1日目:ユース対象、2日目:大人対象)でのアクションアイデアに基づき、弊会のYUIみらいプロジェクトの活動計画「ふくおかジェンダー主流化プロジェクト」を次のとおり策定して、2025年12月まで取組みを行いました。今期は、本活動に関連し、次ページ以降の3つの活動を実施いたしました。

ふくおかジェンダー主流化プロジェクト

1. 経営者/自治体トップ とのジェンダー主流化

01 リアルボストーク！

- ・ゆるふわボストーク拡大版
- ・経営層/自治体トップとの
ジェンダー平等な福岡の実現に向けた
対話

02 ジェンダー主流化 ブートキャンプ

- ・経営者向けブートキャンプで正しく
学べる機会の提供
- ・学習による意識と行動の変化を「ジェン
ダー平等アクション宣言」にて表明
- ・2025年度にEラーニング化を検討

2. 次世代と協働する ジェンダー平等な社会づくり

01 学生・保護者・教員対象

ジェンダー平等ワークショップ

- ・ジェンダー平等を学校全体で進めるモデル校づくり

02 若者と政治家との合同ワークショップ

- ・市内で活動する議員や政治団体と、学生の共同参加型
ワークショップ
- ・政治におけるジェンダー主流化、ジェンダー平等を
次世代とともに発信

03 若手女性ビジネスパーソンへのメンタリング提供

- ・入社5年以内程度の女性を対象にWE-Net修了生による
グループ形式のメンタリングを提供
- ・賛助会員企業への優先提供により、賛助企業の拡大、
運営基盤の安定化を図る

3. 政党モニタリングによる ジェンダー主流化の促進と 主権者意識の醸成

- ・選挙時等に、各政党へのジェンダー
平等に関するアンケートを実施
- ・結果をプレスリリースし、地域へ発信
- ・他の地方創生プロジェクト実施団体に
展開し、コレクティブインパクトを
めざす

4. 活動基盤強化

- ・個人寄付制度の開設
- ・情報発信力強化



近年の主な事業

2023年、公益財団法人みらいRITAが実施するYUIみらい プロジェクト「ジェンダー視点のある地方創生助成」に採択されたことをきっかけに、一般社団法人化。ジェンダー平等/多様性社会を実現するための様々なプロジェクトを実施しています。

= YUIみらいプロジェクト活動

2025. 1. 28

メンタリングプログラム 第1回



2025. 2. 11

ユース×政治家で考える
ジェンダー平等な福岡のみらい



2024. 11~12

ジェンダー平等・多様性ワークショップ



2024. 3. 28

一般社団法人設立



2024. 8. 5

リアルボストーク



2025. 1~2

第1回ジェンダー平等社会に
向けた政党アンケート

政党	賛成	反対	不明	その他
自由民主党	賛成	反対	不明	その他
公明党	賛成	反対	不明	その他
立憲民主党	賛成	反対	不明	その他
国民民主党	賛成	反対	不明	その他
日本維新の会	賛成	反対	不明	その他
れいわ新選組	賛成	反対	不明	その他
日本共産党	賛成	反対	不明	その他
社会民主党	賛成	反対	不明	その他
緑の党	賛成	反対	不明	その他
日本労働組合総連合会	賛成	反対	不明	その他
日本学生連合	賛成	反対	不明	その他
日本青年会議所	賛成	反対	不明	その他
日本経済団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本商工会議所	賛成	反対	不明	その他
日本工業団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本建設業連合会	賛成	反対	不明	その他
日本農業団体	賛成	反対	不明	その他
日本林業団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本漁業団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本水産団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本畜産団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本酪農団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養蚕団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養蜂団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養鶏団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養豚団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養牛団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養馬団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養鹿団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養鳥団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養魚団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養虫団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養花団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養草団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養木団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養石団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養土団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養砂団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養石炭団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養石油団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養天然ガス団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養原子力団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養宇宙団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養海洋団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養山岳団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養森林団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養河川団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養湖沼団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養海洋生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養陸地生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養植物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養動物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養微生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養宇宙生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養宇宙無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養海洋生物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養陸地生物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養植物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養動物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養微生物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他
日本養無生物無生物団体連合会	賛成	反対	不明	その他

2025. 2~3

ジェンダー主流化
ブートキャンプ



2025. 6. 17

メンタリングプログラム 第2回
(P12)



2026. 2. 19

リアルボストーク



2026. 1

「WEパートナー」(個人寄付
制度)開始 (P13)



2025. 7~12

ファンドレイジング伴走支援
プロジェクト参加 (P13)



2025. 3. 3

ジェンダー主流化ブートキャンプ
特別編セミナー





「若手女性対象キャリアミートアップ:ロールモデル×メンタリングプログラム」

若手女性を対象に、女性管理職ネットワークWE-Net福岡修了生がメンター／ロールモデルとなり、グループ形式で実施する全2回のメンタリングプログラムで、今期は2回目のプログラムを下記要領で実施しました。

<開催要領>

【日時・場所】第2回 2025年6月17日(火)14:00～17:00/電気ビル共創館Eカンファレンス

【第2回プログラム】

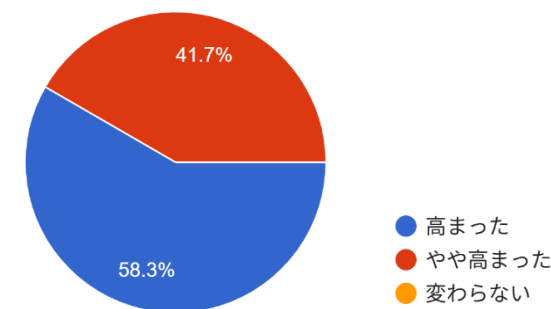
- ・第1回プログラムとそれからの半年間ふりかえり
- ・キャリアの「課題」言語化ワーク
- ・対話から見つける「なりたい自分」と実現のために必要なこと

【参加者】弊会賛助会員企業他福岡県内の企業・団体に勤務する若手女性 12名(8社)



第2回プログラムでは、前回から半年の間に取り組んできたことを振り返り、仕事やキャリアの課題に対するアプローチを探りながら、少しずつ「なりたい自分」やそのために取り組みたいことを具体化していきました。異なるメンバーと対話を重ねる中で、メンターが相談役を務めるだけでなく、メンティ同士が互いの経験を共有し、支え合うピアメンタリングの関係が作られていきました。

全2回終了後に実施したアンケートでは、プログラム参加の感想として「他企業の人と交流できて有意義だった」「キャリアやライフプランについての悩みを相談できていい機会になった」「思わぬところからヒントを得ることができた」「キャリアに対する不安が解消された」などの声が寄せられました。また、「今後のキャリア形成に向けて、自分から行動したい・アクションを起こしたい気持ちは高まりましたか」という問いに対して、回答した全員が「高まった」「やや高まった」を選択しました。所属や業種、世代を超えた交流を通じて、若手女性のキャリア形成を後押しする機会となりました。



「今後のキャリア形成に向けて、自分から行動したい・アクションを起こしたい気持ちは高まりましたか」
(事後アンケートより抜粋)



YUIみらいプロジェクト ファンドレイジング伴走支援プロジェクト

自律的で持続可能な運営体制の基盤を整え、財源、組織、事業の一体的な発展を目指す「エンパワーメントのリレー」を実現するための財務基盤の強化・情報発信力強化を行いました。

活動基盤強化

WEパートナー (個人寄付制度)



(上)ファンドレイジング
ワークショップ

(右)WEパートナー(個人寄付)
募集サイト



一般社団法人
WE-Next

対話と行動から変化を生み出すプラットフォーム—ジェンダー平等な社会を、次世代へ

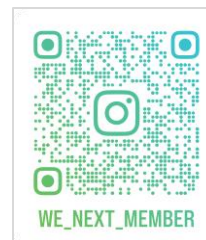



多様な力がつながることで、社会は少しずつ変わっていきます。

WE-Nextは、女性管理職を中心に、企業・行政・地域・次世代をつなぐ「対話の場」と「実践の場」を育ててきました。立場や経験の違いを超えて、学び合い、支え合いながら、次の一步をともに考えていく。

WEパートナー（ご寄付）は、これらの取り組みへの想いに共感し、社会を前に進める仲間として、活動を応援する参加のかたちのひとつです。

発信力強化



(左)Instagram設置

一般社団法人

WE-Next

INTRODUCTION BOOKLET

ジェンダー平等な社会を次世代に



女性管理職やこれから一歩を踏み出す女性たちへ立場をこえてつながり 対話と行動から変化を生み出すプラットフォーム

自分らしい関わり方から、はじめてみる

WE-Next への参加に、決まった形はありません。その時々々のコンディションや興味関心に合わせて、自分らしい関わり方を選んでいただけます。今のあなたに合う一歩から、はじめてみてください。

いろいろな参加方法

- ① 公式HP・SNSでつながる
活動やイベント情報、メンバーの声を発信。まずはフォローして、日々の気づきや対話に触れてみてください。
- ② オンラインサロンをのぞいてみる
安心して、キャリアや日々のモヤモヤを共有する場。HP からメールマガジンを登録するだけで、気軽に参加できます。
- ③ リアルな交流イベントに参加する
対話を大切にしたいイベントや学びの場を定期的に開催。まずは一度、雰囲気を感じてください。
- ④ 後進のメンター/サポーターになる
これまでの経験が、誰かの力になります。できる範囲で、次の世代を支える関わり方が可能です。
- ⑤ 仲間と企画を形にする
イベントの企画づくりや当日の運営サポート、発信など関わり方はさまざま。仲間と一緒に、想いを形にしていきます。
- ⑥ WE パートナーとして応援する
寄付 (WE パートナー) を通じて、WE-Next の活動を継続的に支えることができます。エンパワーメントのリレーや対話の場づくりを後押しする。大切な参加のかたちです。詳しくは裏面をご覧ください。

それぞれの活動に参加をご希望の場合は、Instagramや公式HP、各QRコードを参照ください。

(右)リーフレット

活動報告

第3期 2025-2026

②九州経済連合会アライアンス事業

Action!

社会とビジネスの課題に
ジェンダー視点のアクションを！

私たちはジェンダーや多様性の視点で社会やビジネスの課題解決とウェルビーイングを実感できる社会づくりにチャレンジしています！





九州経済連合会とのアライアンス

2021年より一般社団法人九州経済連合会とのアライアンスをスタートしました。地域貢献の視点をさらに意識して活動を展開しています。

一般社団法人 九州経済連合会 2030年ビジョンより

● 実現に向けて取り組むべき10の課題とその関係図(イメージ)

共生と共感によって、成長と心の豊かさが相互に好影響を与え合い、新たな価値を創出する持続可能な未来を目指す



2030年ビジョンの柱のひとつ

『心の豊かさを成長につなぐ幸せコミュニティ
～多様な人材を活かし、新たな価値創出を促す～』

上記の方針に基づき

- ・女性管理職ネットワーク WE-Net福岡
- ・ダイバーシティ幸せコミュニティワーキング参加

等の活動で協働を開始





女性管理職ネットワークWE-Net福岡/九州(1/2)

女性管理職ネットワークWE-Net福岡は、「女性の大活躍推進福岡県会議」発足当初から継続実施している弊会の中心的プロジェクトです。弊会の活動は、WE-Net福岡修了生の有志の自主的な参画により支えられています。昨年度から、事務局を九州経済連合会が担い、活動のサポートを次ページの修了生が行っています。

WE-Net福岡/九州について

女性管理職ネットワークWE-Net福岡は、九州の女性管理職が企業を超え連携するプロジェクトとして、2013年にスタートしました。

原則1年間を1期として、每期ごとに企業や団体から推薦された女性リーダーが参加し、合計4回程度の全体定例会のほか、小グループでの探究活動を通じて、女性活躍やジェンダー平等をテーマにビジネスや社会課題の解決を考え、提言を行ってきました。その過程は、自身のリーダーシップやチームビルディングに関する省察を図るアクティブラーニング形式となっています。

11期(2025年度)までの修了生は300名を超えるネットワークとなり、中には企業等の経営層で活躍するメンバーもいます。

活動期間修了後も、有志によるプロジェクトを立ち上げ、修了生が現役メンバーの活動を支援するサポーター制度のほか、修了生同士の研鑽と交流の場「WE-Net福岡サロン」の企画運営、講師・ロールモデルとしての登壇、次世代へのメンタリングなど様々な活動を積極的に展開しています。



WE-Net福岡10期最終定例会(2024年3月8日)

注)11期から、運営事務局を九州経済連合会内に移管するとともに、名称を「WE-Net九州」と改め、福岡県内のみならず、九州各県から女性管理職が参加しています



女性管理職ネットワークWE-Net福岡/九州(2/2)

WE-Net九州11期サポーター活動

女性管理職ネットワークWE-Net福岡は、2024年10月に募集を開始した11期より、一般社団法人九州経済連合会に運営事務局を移管し、名称を「WE-Net九州」と改め、新たなスタートを切りました。11期では、「健康経営から考える多様な人材の活躍と一人ひとりのWell-Being」をテーマに、2026年1月までに、全5回の定例会を開催しました。7チームに分かれての課題探究では、「健康経営」をキーワードに幅広い視点から課題を考察し、様々な取組みを検討しました。最終定例会では、各チームから個性あふれる報告・提案が発表されました。

WE-Net修了生で構成するサポーターには、2期生から10期生まで6名の修了生が参加し、11期生の定例会開催や課題探究活動を伴走支援しました。

<WE-Net九州11期サポーター>

園田 理恵	WE-Net2期/九州電力株式会社
佐々木 圭子	WE-Net3期/一般社団法人WE-Next
有光 千秋	WE-Net6期/株式会社トライアルホールディングス
山本 有希	WE-Net7期/有限責任監査法人トーマツ
井戸下 奈緒	WE-Net10期/株式会社読売西部サービス
太田 貴子	WE-Net10期/株式会社岩田屋三越

小グループでの探究テーマ(最終報告会・発表タイトル)

Aチーム	管理職へのケア
Bチーム	組織全体のパフォーマンスを向上させるために
Cチーム	がん検診の受診率向上
Dチーム	健康経営を“機能させる”ためのBOSS変革
Eチーム	一人ひとりの人生に寄り添う健康経営
Fチーム	健康経営に必要なコミュニケーション
Gチーム	介護とキャリアの両立支援が企業価値を高める健康経営



※弊社関係者は敬称を省略、所属等は2025年度当時



アライアンス事業への参画

九州経済連合会との連携事業として、「WE-Net福岡修了生の部会参画プロジェクト」に修了生が参画しています。

WE-Net福岡修了生の部会参画プロジェクト

一般社団法人九州経済連合会が進めるジェンダー主流化の取組みの一環として、九州経済連合会の全ての委員会の企画部会等を対象に、会員企業の女性管理職（「WE-Net福岡」修了生）の参画促進を行っています。

2025年度は、5つの部会に9名の修了生が参画しました。

資源エネルギー・環境委員会	園田 理恵	WE-Net2期/九州電力株式会社
産業振興部会	名村 知美	WE-Net2期/株式会社安川電機
デジタル推進部会	古田 香	WE-Net1期/株式会社ポータル
	山本 有希	WE-Net7期/有限責任監査法人トーマツ
地域づくり部会	小田 未来	WE-Net6期/株式会社ドーガン
	脇山 康子	WE-Net7期/九電産業株式会社
規制改革推進部会	曽根 ゆかり	WE-Net3期/株式会社岩田屋三越
	初村 清香	WE-Net6期/西部ガス株式会社
	松本 直子	WE-Net8期/株式会社九電工



活動報告

第3期 2025-2026

③自主活動

Action!

社会とビジネスの課題に
ジェンダー視点のアクションを！

私たちはジェンダーや多様性の視点で社会やビジネスの課題解決とウェルビーイングを実感できる社会づくりにチャレンジしています！





経営者/自治体トップとのジェンダー主流化

ビジネスや地域でジェンダー主流化を目指し、「リアルボストーク！第2弾」を実施しました。

リアルボストーク！

産学官それぞれの分野でジェンダー平等実現を牽引する4名のゲストをお招きして、ジェンダー視点での地域の課題解決や多様性を力にしたイノベーション創出の可能性について参加者全員で考えました。

<開催概要>

【日時】 2026年2月19日(月)14:00~16:40 (ネットワーキング16:45~17:30)

【場所】 住友生命博多ビル10階 第一会議室

【登壇者】 ・デロイトトーマツグループ及び有限責任監査法人トーマツボード議長・30% Club

Japan Chair 永山 晴子 氏(基調講演)

・西日本鉄道株式会社 代表取締役会長 倉富 純男 氏

・前福岡県副知事 大曲 昭恵 氏

・九州大学男女共同参画推進室教授 河野 銀子 氏

【参加者】 53名(関係者含む)

【プログラム】

<基調講演>

ひとりの女性としてのライフ・キャリアを積み重ねられ、現在はデロイトトーマツグループの最高意思決定機関であるボードの責任者を務めておられる永山晴子氏から、地域におけるダイバーシティ経営の意義、そして異なるセクターと連携していくことの重要性についてお話をいただきました。

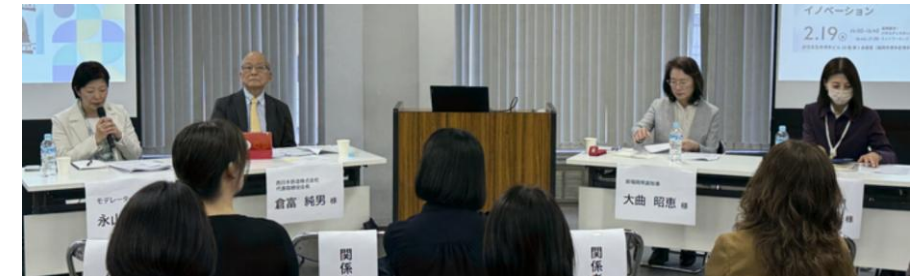
<パネルディスカッション>

ご登壇者の皆さまにそれぞれの立場から、各界におけるDE&Iの取り組みや推進のポイントについて語っていただき、基調講演での教示をさらに深めていただきました。

全体的な論点として、ジェンダードイノベーションの視点が加わることで価値創造や、地域創生とジェンダー平等が切り離せないものである点が何度も語られていたことが印象的でした。分野を超え、ジェンダー平等の本質的な価値を再確認する場となったと感謝しています。

<ネットワーキング>

プログラムの最後には和やかな雰囲気のもと、登壇者と参加者、参加者同士で自由な意見交換やネットワーキングが行われました。





WE-Netサロン # ゆるふわ/ボストーク！(1/2)

WE-Net修了生の相互研鑽と交流を図るコミュニティとして、「WE-Netサロン」の企画運営を行っています。今期WE-Netサロンでは、修了生や関係者に向けた月1回のオンライン配信プログラム「#ゆるふわ お耳におじゃまします」とその特別編「ボストーク！」を、合計10回実施しました。

ゆるふわ お耳におじゃまします

お昼のオンライン配信プログラム「# ゆるふわ お耳におじゃまします」では、毎月第4金曜日のランチタイムに、旬の出来事や気になる話題をテーマに、多様なゲストをお迎えしたり、WE-Net修了生から話題提供を行ってきました。お昼のひととき、気軽にゆるくふわっと対話するプログラムを通じて、修了生やWE-Next関係者同士が所属や参加期を超えてつながる場づくりをめざしています。

また、特別編として、福岡に縁のある企業の経営トップ「ボス」をお招きして、ダイバーシティやジェンダー平等、経営などをテーマに対話する「ボストーク！」を不定期に開催しています。毎回リレー形式で次のゲストをご紹介いただき、これまで16名のボスに登場いただいています。

開催日時： 第4金曜日をベースに開催 12:15～12:45

形式： オンライン(Zoomによる配信)

参加者： WE-Net修了生、WE-Next関係者 等

● 2025年6月～2026年5月までの開催回(1/2)

回/日付		テーマ
43	7/4(金)	ボストーク！EP14「分けない文化」 ゲスト：RKB毎日放送 代表取締役専務取締役 岩熊 正道様
44	8/22(金)	WE-Net修了生リレートーク また、つながる vol.1 “自分で決める”～キャリアのその先 ゲスト：WE-Net福岡1期生 キャリアコンサルタント 高鍋 優子



※弊社関係者は敬称を省略、所属等は登壇当時



WE-Net福岡サロン # ゆるふわ/ボストーク！(2/2)

● 2025年6月～2026年5月までの開催回(2/2)

回/日付		テーマ
46	9/26(金)	ボストーク！EP14「AIネイティブの組織づくり」 ゲスト：株式会社Fusic 取締役副社長 浜崎 陽一郎様
47	10/20(金)	WE-Net修了生リレートーク また、つながる vol.2 パートさんを幸せにしたいその気持ちが原点 ゲスト：株式会社極東ファディ 取締役 総合企画本部 本部長 吉水 請子（WE-Net福岡1期生）
48	11/28(金)	ボストーク！EP15「クリエイティブとエゴとテクノロジーの狭間で」 ゲスト：大洋グループ 代表取締役社長 岡部 知寛様
49	12/19(金)	フリートーク「2025年はどんな年でしたか？」 ゲスト：福田 遼様(フリースクール コンコン代表)、高鍋 優子(WE-Net福岡1期生)、吉水 請子(WE-Net福岡1期生)
50	1/23(金)	Global Genderリポート 台湾編 ゲスト：一般社団法人 WE-Next 共同代表 高山 健司
51	2/27(金)	WE-Net修了生リレートーク また、つながる vol.3 まずはやってみる。キャリアは後から意味づけされる ゲスト：イオン九州株式会社執行役員 熊本・筑後事業部長/WE-Next理事 武富 恭子（WE-Net福岡2・3期生）
52	3/25(木)	コミュニティナースという働き方—安心を育てる ゲスト：西部ガス株式会社 営業本部 都市リビング開発部まちづくりソリューショングループ 大久保 知美様 まちの保健室 たねばこコミュニティナース 小松 亜矢子様
53	5/15(金)	ボストーク！EP16「地域のために 未来のために」 ゲスト：地域みらいグループ 代表取締役社長 脇山 章太様

EVENT INFO

ジェンダー平等な社会を次世代に
WE-Next



our event

#2月ゆるふわ

日時：2026年2月27日（金）12：15～12：45
場所：オンライン
概要：#ゆるふわ第51回
ゲスト イオン九州 執行役員 熊本・筑後事業部長 武富 恭子さん

EVENT INFO

ジェンダー平等な社会を次世代に
WE-Next



our event

#3月ゆるふわ

日時：2026年3月26日（木）12：15～12：45
場所：オンライン
概要：#ゆるふわ第52回
ゲスト SG 都市リビング開発部 大久保知美さん
まちの保健室 たねばこ コミュニティナース 小松亜矢子さん



その他：次世代へのエンパワーメント（1/2）

自治体が主催する地域でのイベント等にWE-Net福岡修了生が登壇し、エンパワーメントのリレーを実践しています。

自治体主催事業登壇（1/2）

福岡県 女子中高生のためのキャリアデザイン応援事業 トークライブ ミライをひらくキャリアデザイン ロールモデル

内 容：福岡県内の女子中高生を対象とするトークイベント。様々な分野で活躍する女性がロールモデルとして登壇し、固定的な性別役割分担意識にとらわれることなく、柔軟な発想と幅広い視野で将来のキャリアについて考える機会を提供する。

<コーディネーター・ロールモデル>

土谷和子	WE-Net1期/story代表	太田 貴子	WE-Net10期/株式会社岩田屋三越
山本有希	WE-Net6期/有限責任監査法人トーマツ		

福岡県 女性活躍のための企業人材育成事業 WOMEN'S BUSINESS CAMP2025 メンター等

内 容：福岡県内企業の若手・係長相当・課長相当の各階層別女性人材育成プログラム
 ラーニングファシリテーター：プログラム開講期間を通して、受講者の学びと交流を伴走支援
 メンター：受講者が作成したアクションプランやリーダーシップ宣言に対するグループフィードバックを行い、内容やプレゼンテーションの質向上を後押しする

<ラーニングファシリテーターアドバイザー>

土谷 和子 WE-Net1期/story代表

<メンター>

一瀬 香	WE-Net1期/西部ガス株式会社	高鍋 優子	WE-Net1期/キャリアコンサルタント	吉水 請子	WE-Net1期/極東ファディ株式会社
與田 靖子	WE-Net1期/株式会社九州博報堂	浦 里果	WE-Net3期/公益財団法人福岡県農業振興推進機構	佐々木 圭子	WE-Net3期/一般社団法人WE-Next
野上 千寿	WE-Net9期/株式会社ハローライフ				

※弊社関係者は敬称を省略、所属等は登壇当時



その他：次世代へのエンパワーメント（2/2）

自治体主催事業登壇（2/2）

佐賀県 2025年 キャリアデザインセミナー ロールモデル

内 容：佐賀県の若手女性社員を対象にしたキャリア研修。様々な分野で活躍する女性のロールモデルとの対話を通じて、自分にとっての豊かなキャリアとは何かを考え、将来イメージを具体化する後押しを行う。

<ロールモデル>

井戸下 奈緒 WE-Net10期/株式会社読売西部サービス

※弊社関係者は敬称を省略、所属等は登壇当時





財務報告

3期の財務報告は以下の通りです。

貸借対照表

令和8年5月31日現在

一般社団法人WE-Next
(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,109,463		
流動資産合計		1,109,463	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,109,463
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	0		
未払費用	0		
前受金	0		
預り金	0		
仮受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,089,396	
当期正味財産増減額		20,067	
正味財産合計		1,109,463	
負債及び正味財産合計			1,109,463

活動計算書

令和7年6月1日 至令和8年5月31日

一般社団法人WE-Next
(単位：円)

勘定科目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
賛助会費	280,000	280,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	210,648	210,648	
3. 受取助成金等			
受取助成金	2,880,900	2,880,900	
4. 事業収益			
講師謝礼金	13,200	13,200	
5. その他収益			
受取利息	5,371		
雑収益	0	5,371	
経常収益計			3,390,119
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,400,000		
法定福利費	250,788		
人件費計	1,650,788		
(2) その他経費			
業務委託費	983,480		
会議費	103,645		
旅費交通費	-		
通信費	206,091		
消耗品費	83,477		
支払手数料	10,411		
諸謝金	132,000		
その他経費計	1,519,104		
事業費計		3,169,892	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当		0	
人件費計		0	
(2) その他経費			
交際費		0	
会議費		0	
通信費		24,529	
消耗品費		9,275	
支払手数料		1,210	
租税公課		11,921	
支払報酬料		82,225	
その他経費計		129,160	
管理費計		129,160	
経常費用計			3,299,052
当期経常増減額			91,067
経常外収益			
III 1. 固定資産売却益			0
経常外収益計			0
経常外費用			
IV 1. 過年度損益修正損			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			91,067
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			20,067
前期繰越正味財産額			1,089,396
次期繰越正味財産額			1,109,463